

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を兼ねるもの

基本目標1:人と自然が共生し健やかに暮らせるまちづくり											年度別KPI(上段:目標値/下段:実績)					中間評価		二次評価		
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主 担 当 課	担当係	副 担 当 課・連携 課	KPI指標	単位	基準値年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度の方向性	次年度の方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み
(1)日本一健康なまちをめざします	①健康寿命を伸ばすための健康づくりを推進します	1	減塩を意識した日本型食生活への改善など、生活習慣病の予防を推進します	健康福祉課	いきいき健康係	こども課	日本型食生活に努めている人の割合	%	H30	93	82	83	83	85	85	R2年度に実施した健幸アンケートでは79.5%であった。食育講座時や食育レシピ等の啓発活動で日本型食生活の情報発信に努めたい。	4.現状維持	4.現状維持	減塩を意識した日本型食生活への改善に向けて、市内各地域での啓発活動を行うとともに、健診結果等に応じた個別指導を実施し生活習慣病の予防を図ります。	食生活改善事業
		2		健康福祉課	いきいき健康係		健康運動教室参加者数	人	R1	1,351	1,500	1,650	1,800	1,900	2,000	R3年8月末の参加数は、1217人。コロナ禍における県独自の警報等による参加制限により退会者が多く発生。10月以降に入会キャンペーン等を実施し、R1の基準値と同様の回復を目指す。	4.現状維持	4.現状維持	参加者一人ひとりの体力に合わせた科学的な運動プログラムで筋力アップを図り、体力低下や転倒骨折を予防し、高齢者の寝たきり予防と健康増進を図ります。	健康運動教室、脳の健康教室、健幸ポイント事業
		3	健康運動教室や脳の健康教室など、体も心も元気にする介護予防を推進します	健康福祉課	いきいき健康係		健幸ポイント・生活習慣病予防プログラム参加による医療費抑制額	千円	R1	-	29,100	35,100	-	-	-	R2年度実績では、参加者1人あたりの抑制効果は14.9万円/人。これらをR3年度末の予定人数2,000人から、29,800千円となり達成を見込む。	4.現状維持	4.現状維持	健康無関心層の行動変容を促し、ヘルスケア事業に参加してもらうことで、参加者一人ひとりの健康増進や生活習慣病重症化予防を図り、医療費の抑制に努めます。	SIBヘルスケア事業による医療費抑制
		4		健康福祉課	いきいき健康係		健幸ポイント・生活習慣病予防プログラムへの参加者数	人	R1	3,150	3,100	3,150	-	-	-	コロナ禍であるが、9月末現在で3,150人となっており、今後も参加募集を継続させていくことから達成が見込まれる。	4.現状維持	4.現状維持	医療費抑制に繋がるヘルスケア事業を行うと同時に、その効果が相乗的に向上するようプログラム参加者の増加を図ります。	SIBヘルスケア事業への参加者を増加
		5	各種健(検)診の受診率の向上を図ります	健康福祉課	農業振興係 農政企画係	こども課	市民アンケート「ICT(情報通信技術)の整備状況や体制」満足度	%	R1	52	57.5	59	60%	60%	60%	日時指定方式、定員制を設けることで、感染症対策を講じながら事業を実施中。発送時期、対象を考慮しながら受診勧奨に努めたことでコロナ禍前の令和元年度水準に受診率は回復する見込みではあるが、目標受診率の達成は困難。	4.現状維持	4.現状維持	特定健診を受診し、結果データが示す体の状態をもとに生活習慣改善に取り組むことで、生活習慣病の発症や重症化の予防を図ります。	特定・基本健診、がん検診
		6	健康づくりを楽しく行える環境の整備を図ります	健康福祉課	いきいき健康係	関係各課	健幸ウォーキングロードのコース数	本	R2	22	22	22	22	22	22	R3年度、22コースを維持し達成を見込む。	4.現状維持	4.現状維持	市内各地域コミュニティに安全で快適に歩くことのできる健幸ウォーキングロードを設定し、併せて健康遊具、健幸ベンチを設置し楽しみながら行う健康づくり環境の整備を図ります。	健康運動教室、健幸ポイント事業
		7	健康の駅をはじめとした市民相談体制を充実など、連携した自殺予防対策を進めます	健康福祉課	健診・予防係	関係各課	相談窓口(健康の駅)の認知度	%	H29	46.8	50	60	60	60	60	新型コロナウイルス感染症対策の為、見附市立病院から保健福祉センターへ一時移設。健康体験を中止し総合相談窓口としての事業を実施中。例年全戸配布のチラシで周知を行っていたが、機能を縮小しているため周知も難しく目標認知度の達成は難しい。	4.現状維持	4.現状維持	こころの健康やうつ病について理解する市民を増やすと共に、相談窓口の活用促進、関係機関の連携体制強化等により自殺予防のための支援を進めます。	自殺予防対策、健康の駅
	②地域医療体制の充実を図ります	8	市立病院の診療内容の充実に取り組みます	市立病院	市立病院事務部		外来診察コマ数の増加	コマ数/週	R1	57	54	-	55	-	56	大学との関係構築に力を入れ医師確保に取り組んでおり、今年度については目標値を達成できる見込みである。引き続き大学との連携を深めていきたい。	4.現状維持	4.現状維持	大学との良好な関係構築を行い連携を強化し、医師の確保に取り組めます。	大学との関係づくり、健康寿命延伸プロジェクト
		9	市立病院の地域包括ケア病床を拠点に近隣医療機関、近隣介護施設等との連携を強化します	市立病院	市立病院事務部		紹介・逆紹介患者数の増加	件	R1	紹介1,605 逆紹介1,333	紹介1,500 逆紹介1,300	紹介1,530 逆紹介1,330	紹介1,560 逆紹介1,360	紹介1,580 逆紹介1,380	紹介1,600 逆紹介1,400	新型コロナウイルス感染拡大による入院患者・外来患者減の影響があり、目標値に達しない可能性がある。今後も引き続き市内開業医や他の病院との連携強化に努めていく。	4.現状維持	4.現状維持	地域医療連携室の職員を中心として、市内開業医や市外総合病院へのあいさつ回り等を実施し、紹介、逆紹介患者数を増やし、連携を強化します。	医師会との連携、近隣施設との連携会議
		10	救急医療体制の充実を図ります	健康福祉課	健診・予防係		休日在宅当番医数の維持	人	R2	13	13	13	13	13	13	今年度は目標値が維持できる見込み。今後は減っていくことが予想されるので目標値の達成は難しい。	4.現状維持	4.現状維持	市立病院並びに地元医師会の協力を得ながら地域医療体制の確立を図ります。また初期救急医療体制の確保に努めます。	休日在宅当番医制事業
		11	市内への診療所等の医療機関の誘致に取り組みます	健康福祉課	健診・予防係		診療所開業支援補助件数	累計件数	R2	1	1	2	3	4	5	KPIの達成は難しい見込み。一方で、様々な誘致活動を行った結果、複数の不動産会社などが診療所誘致に向けて動いている。課題として補助額が他市に比べて低い水準にあることから、次年度に向けて制度改正(増額)を検討していきたい。	3.拡大(費用)	別紙1参照	見附市内での診療所新規開業を促進するため、支援制度の周知を図ります。	進出医療機関への補助事業
(2)だれもがいきいきと暮らせるまちをめざします	①地域包括ケアシステムの体制づくりを推進します	12	適正な介護施設及び介護サービスの確保に努めます	健康福祉課	介護保険係		介護サービス提供事業所増設件数	件	R2	1	増設1	-	新設2	-	-	8期介護保険計画のとおり、整備している。R3年度整備状況。66施設、定員1,223人。	4.現状維持	4.現状維持	地域の介護サービス提供体制等の基盤整備を図るため、国・県の補助金を活用した整備経費に対する支援及び整備事業所に対する相談支援を行います。	国・県の補助金を活用した整備経費に対する支援及び整備事業所に対する相談支援
		13	地域の力やICTを活用して高齢者を支えていく、地域包括ケアシステムを整備します	健康福祉課	高齢福祉係	関係各課	ICT連携情報共有システム登録者数	人	R2(1月時点)	73	200	300	400	500	600	R3.10月末 195人の登録者があり、R3度の目標は達成見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	支援する多職種が、登録者の医療や介護の情報をシステムにて共有することで、多職種間での円滑な連携を図ります。	認知症サポーター養成講座、見守り協定締結、在宅医療・介護ICT連携情報共有システム事業
	②高齢者の社会参加を促進します	14	交流と活動の場を広げ、高齢者の生きがいづくりを推進します	まちづくり課	市民活動係	健康福祉課	悠々ライフ参加者数	人	R1	7,048	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	新型コロナウイルスの影響で、現在実施できた行事は予定の約半分程度で10月末現在の参加者数は2,066人。目標の達成は困難な状況であるが、できる事業を確実に行っていく。参加者は3,500人を見込んでいる。	4.現状維持	4.現状維持	定年退職などの節目に「第二の人生」を見つめ直すとともに、楽しみながら生きがい探しや仲間づくりをする人たちを支援します。	ハッピーリタイアメント事業
		15	高齢者が活躍できる環境づくりに努めます	地域経済課	産業企画係	まちづくり課・健康福祉課	生涯現役促進地域連携事業における高齢者の就業者数	人	R1	47	50	50	50	50	50	今年度から、地域協働コースを新たに開始、協議会事務局体制を変更し、セミナー等の開催が9月からとなり、9月末現在の就業者は2人。KPIは未達成の見込み。引き続きセミナーやガイダンス等を開催し、就業者数の確保に努める。	4.現状維持	4.現状維持	相談窓口の充実や企業への高齢者雇用の働きかけなどで、働きたい高齢者が働ける環境を整備します。	ハッピーリタイアメント事業、生涯現役促進地域連携事業
	③障がい者の自立支援に努めます	16	障害の早期発見を進め、早期支援体制整備に努めます	こども課	元気子育て係	健康福祉課	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	%	R1	96	98	98	98	98	98	R3.9現在3歳児健診受診者114人中「育てにくさ」を「いつも」感じている保護者は0人だった。35人が「ときどき」育てにくさを感じており引き続き健診での相談機関の周知を行っていく。	4.現状維持	4.現状維持	ネウボらみつけにおいて発達相談、療育教室、ことばの相談などを開催し就学前の子どもの成長や発達に関する不安や悩みごとの相談に対応します。児童発達支援センターとも連携を図ります。	児童発達支援相談事業
		17	活動や訓練の場を整備し、サービスの充実に努めます	健康福祉課	障害福祉係		地域活動支援センターあじさい利用者数	人	R1	2,574	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	コロナ禍の影響かどうかは不明であるが、利用者は少なく徐々に増えてきている状況。必要な方への支援を継続していく。	4.現状維持	4.現状維持	障害者の日中の居場所として、創作的活動や社会交流促進、生産活動の機会を提供し、自立生活の促進と社会参加を図ります。	地域活動支援センター事業(あじさい業務委託)
		18	事業者や企業と連携しながら、障がい者の就労を支援します	健康福祉課	障害福祉係		自発的活動支援事業の参加者数	人	R1	33	30	35	40	45	50	いまのところ、今年度の事業実施は未定。	4.現状維持	4.現状維持	就労している障害者からの体験談発表を通して、これから就労しようとしている障害者や現在就労している障害者を支援します。	自発的活動支援事業(スクラムの会)、理解促進研修・啓発事業(講演会など)
	④地域福祉の充実を図ります	19	福祉団体やボランティア団体等との連携を強化し、地域での福祉活動の充実を図ります	健康福祉課	障害福祉係	まちづくり課	障がい者と共にするスポーツレクリエーション活動事業の参加者数	件以下	R1	104	40	45	50	55	60	障がい者と共にするスポーツレクリエーション活動事業の実施を予定していたが、今年度はコロナ禍で中止となり、今後の活動については検討中。	4.現状維持	4.現状維持	障害の有無に関わらず共に障害者スポーツ等を体験することで、相互理解や社会参加へのきっかけを創出します。	手をつなぐ育成会補助金、レクリエーション活動支援事業(あぞーる障害者スポーツ)
		20	母子・父子福祉を充実します	こども課	元気子育て係		児童扶養手当受給者等に対する各種支援制度の広報の回数(年)	回	R1	2	2	2	2	2	2	R3年度は、自立支援教育訓練給付金利用者が1名、高等職業訓練促進給付金を2名が利用している。自立支援教育訓練給付金の利用相談もきており、来年度以降も同数の利用が見込まれる。	4.現状維持	4.現状維持	児童扶養手当受給者等に対する各種支援制度(自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金、新泊費給付制度、ハローワークで実施の各種就業支援、奨学金、専任職員による支援相談等)、生活困窮者自立支援制度(生活困窮者自立支援事業等)の周知について、対象者への郵送やHPによる広報に努めます。	児童扶養手当等の経済的支援
		21	生活困窮者に対する有効な支援を実施します	健康福祉課	生活支援係		生活保護受給者等自立促進事業での就職者数	人	R2	9	5	5	5	5	5	R3.10月末時点において、事業を利用して12名が就労につながっており、令和3年度の目標値は達成している。	4.現状維持	4.現状維持	ハローワークと連携して支援プランを策定し、就職支援ナビゲーター等による支援のもとで就労の実現を図ります。	生活困窮者及び要支援者(低所得・障害等)への自立支援事業

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を兼ねるもの

基本目標1：人と自然が共生し健やかに暮らせるまちづくり											年度別KPI(上段:目標値/下段:実績)					中間評価		二次評価		具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主 担 当 課	担当係	副 担 当 課・連携 課	KPI指標	単位	基準値年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度の方向性	次年度の方向性			
(2)だれもがい きいきと暮ら せるまちをめ ざします	⑤ 人権意識の向上を 図ります	22	人権教育を推進します	市民生活課	市民相談・年金係	関係各課	講演会、研修会への参加回数	回	R1	35	35	35	35	35	35	人権講演会1回、教育研修は13校で各2回と全体で1回を実施した。行政一般向け研修については7回実施のため、目標達成の見込み。今後も継続したいと考えている。	4.現状維持	4.現状維持	市民、教育関係者、行政職員の講演会、研修会への参加を促します。	人権講演会	
		23	人権啓発を推進します	市民生活課	市民相談・年金係	関係各課	啓発活動回数	回	R1	10	10	10	10	10	10	今年度は現時点で相談会2回、イベント時の啓発1回、保育園、中学、高校等での啓発4回、高齢者向け啓発1回の計8回実施のため、目標達成の見込み。来年度以降も同様で考えている。	4.現状維持	4.現状維持	法務局や関係機関と連携した啓発活動、相談会を開催します。	各年代に対しての人権教室	
	⑥ だれもがICTを活用できる環境整備を推進します	24	ICTの利用環境の整備を支援します	企画調整課	総合戦略室 (ICT推進)	総務課・健康福祉課・まちづくり課	インターネット通信環境の世帯普及率	%	R2	94	96	97	98	99	100	インターネット回線や無線LANを設置する世帯に工事費や通信費等を補助する見附市通信環境整備補助金は、今年度も多くの申請があり、世帯普及率は進んでいると見込まれる。令和4年1月実施予定の市民アンケートでのKPI達成につなげていきたい。	4.現状維持	4.現状維持	ICTの活用による市民の利便性向上を目的に、インターネット回線等整備に対する費用補助や、インターネットコンテンツの活用促進を図り、ICT環境の普及を図ります。	通信環境整備補助金制度等による整備支援の実施	
		25	ICTへのリテラシー(理解)向上に取り組めます	企画調整課	総合戦略室 (ICT推進)	総務課・健康福祉課・まちづくり課	デジタルコンテンツの利用率(見附市情報通信利用動向調査)	%	R2	83	90	92	93	94	95	広報みつけ8月号から月1ページの連載企画(「デジタル社会を生きる」)を実施し、デジタル対応済みの行政サービスについて周知を図っている。さらにスマホ等の操作方法等を気軽に相談できる「スマホ相談窓口」をネーブルみつけに設置する等、ICTリテラシー向上に取り組んでおり、KPI達成につなげていきたい。	3.拡大(費用)	別紙1参照	ICTの活用と理解を高める啓発活動と情報発信を推進し、行政サービス等のデジタルコンテンツの利用を促進し、市民の利便性向上を図ります。	高齢者を中心とした市民へのICT活用の啓発	
		(3)地域から始める地球環境保全に取り組めます	① 循環型社会を目指し、廃棄物の発生抑制や資源の有効利用を推進します	26	ごみの分別による再資源化を図り、家庭や事業所のごみ減量化を推進します	市民生活課	生活環境係		一人1日あたりのゴミ排出量の抑制	g以下	R1	869	860	855	850	845	838	9月末現在の比較で、R1は906g、R3は915gであった。例年年度後期は排出量が減る傾向ではあるが、人口減少もありKPIの達成ができない見込み。重量がかさむ生ごみなど出さない食品ロス防止などのごみ排出減量と分別の啓発を強化する	4.現状維持	4.現状維持	分別マニュアルの家庭、事業所への配布により啓発を促進し、市民一人1日あたり排出量を削減します。
27	クリーン作戦など、市民との協働により不法投棄させない環境づくりを推進します			市民生活課	生活環境係		クリーン作戦参加者数	人	R1	2,183	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下にあったため、春のクリーン作戦は中止したが、中部産業団地内アクセス道路の花の植栽を感染症対策を行ったうえで市民と企業の協働により環境づくりを行った	4.現状維持	4.現状維持	クリーン作戦の参加者数を増やし、きれいな街づくりを行うとともに、不法投棄させない環境をつくるよう努めます。	クリーン作戦、環境バトロール、街並み花いっぱい運動	
28	地域自らが実践する環境活動・環境教育を支援します			市民生活課	生活環境係	建設課・学校教育課・教育総務課	環境学習・体験学習などの実施数	累計km	R1	28	29	29	29	29	29	9月末現在、環境学習・体験学習などを14回実施。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言期間が長かったため実施しないものもあり、KPIは達成できない見込み。学校行事や地域コミの活動、生涯学習等に取り上げられるように、積極的にアプローチをかける。	4.現状維持	4.現状維持	環境学習講座や体験学習等を実施することにより、見附の自然環境を感じ、かつ、大切さを学ぶ機会を提供し、後世に繋いでいきます。	乾燥生ごみの花苗交換、学校や地域への花苗の提供及び花育活動、地域コミュニティへの通学路等の除草委託、アースプロジェクト事業等	
29	廃棄物処理・リサイクル体制を整備します			市民生活課	生活環境係	上下水道局	資源化(リサイクル)率	%	R1	15.0	16.0	16.5	17.0	17.5	18.0	9月末現在の比較で、R1は14.7%、R3は17.4%であった。例年年度後期は資源ごみ回収を2か月休止する影響で排出量が減るか、KPIは達成見込み。資源ごみの分別と3Rの啓発を引き続き強化する	4.現状維持	4.現状維持	カンや古紙、プラスチック容器包装等のリサイクル率向上に努めます。	次期最終処分場整備、浄水発生土・下水汚泥のリサイクル	
② 地球温暖化を抑制するため、省エネルギー・省資源化を推進します	30		家庭や事業所でできる地球温暖化対策を支援します	市民生活課	生活環境係		エネルギー起源CO2発生量の抑制	千t以下	R1	250	250	247	244	241	238	R3結果はR4.7頃に出る予定。中間評価はできない。新エネルギー導入補助金は上半期で予算を上回る申請があり、市民の新エネルギーに対する意識も高まっており、さらに新工ネ、省工ネ推進の啓発を進めていく。	3.拡大(費用)	別紙1参照	新エネルギー導入促進事業補助金の周知や事業所への啓発、エコアクション等を通じ、地球温暖化対策を啓発するよう努めます。	新エネルギー導入促進事業補助金、事業所へのグリーンカーテン、エコアクションの開催	
	31		環境にやさしいエネルギーの導入を推進します	市民生活課	生活環境係	農林創生課・建設課・上下水道局・地域経済課	市公用車エコカー数	累計導入台数	R1	2	3	4	5	6	7	公用車のエコカーは2台。重点施策として全庁で計画的に転換していくことを要求する。また、新工ネ、省工ネビジョンの具体的事業展開のために、国庫補助を活用して新工ネ省工ネ関連事業の実用化可能調査を全庁的に実施するための予算を要求予定。	3.拡大(費用)	別紙1参照	化石燃料の依存度を下げるために、エコカーや省エネ機器への転換や、新電力の導入等を進めます。	LED街灯設置補助、校庭芝生化、新電力の導入、EV充電設備設置、もみ殻燐炭作り、既存エネルギーの種別変更(重油→灯油)によりCO2を削減する取り組み	
	③ 自然と人々の生活が一体となるふるさとづくりに取り組みます		32	河川空間の保全と利活用に努めます	まちづくり課	生涯学習推進係	企画調整課・建設課・市民生活課	刈谷田川フェスティバル参加者数	人	R1	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	4月25日に規模を縮小して実施し、目標には届かなかった(会場での飲食禁止)が、多くの団体(音楽会)が参加し、来場者も含め1,000名が参加した。	4.現状維持	4.現状維持	多くの人が交流し、「かわ」に親しんでもらえるよう、刈谷田川河川敷を利用した刈谷田川フェスティバルを実施します。	かわまちづくり事業
33			里山の適正な保全管理に努めます	農林創生課	農林整備係		造林保育事業実施面積	ha	H30,R1平均	3.46	4	4	4	4	4	保育間伐、再造林事業を中心に実施予定。概ね達成する見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	森林組合が行う(森林所有者から受託)人工林の保育・間伐等作業を支援し、森林の有する多面的機能の維持・増進を図ります。	造林保育事業、森林経営管理法に基づく森林整備事業	
(4)花と緑のある暮らしの創出を目指します	① 市民ぐるみの景観づくりを推進します		34	快適空間づくり事業などにより市民とともに道路や公園等の景観づくりを進めます	建設課	景観緑花係		快適空間づくり取組団体数	団体	R1	83	83	84	85	86	87	達成する見込み。団体の高齢化により、活動の負担が大きくなっている団体がある。	4.現状維持	4.現状維持	市民や緑化団体の活動に対して花苗提供や資材の支援を行ない、花と緑に包まれた空間の創出に努めます。	花苗提供の継続、快適空間づくり取組団体数の増加
			35	市民の力を生かした公園の管理運営を推進します	建設課	景観緑花係		市民アンケート「生涯学習環境の充実」	人	R1	4,600	4,600	4,625	4,650	4,675	4,700	達成する見込み。団体の高齢化により、活動の負担が大きくなっている団体がある。	4.現状維持	4.現状維持	市内外から観光で訪れる公園において、市民団体やボランティアの人数増加により適切に管理された空間を整備します。	市民団体や地域団体による公園の管理運営
	② 個性的な空間の整備を図ります	36	自然景観との調和を図り、花と緑にあふれた公園の整備を推進します	建設課	景観緑花係		市民アンケート「男女が共に活躍するまちづくり」満足度	ポット	R2	53,300	60,000	60,500	61,000	61,500	62,000	達成する見込み。緑化団体の花苗の希望は多いが、ガーデンプラブの高齢化により、現状維持が難しい状況である。	4.現状維持	4.現状維持	イングリッシュガーデンの育苗施設で育てた花苗を年2回市民団体や公共施設等に提供し、緑化推進とモチベーションの維持を図ります。	花苗提供、緑化助成制度の情報提供	
		37	統一性に配慮した美しい都市空間の形成に努めます	建設課	景観緑花係		快適空間づくり事業の箇所数	箇所	R1	90	95	96	97	98	100	達成する見込み。団体の高齢化により、活動の負担が大きくなっている団体がある。	4.現状維持	4.現状維持	適切に管理された快適空間づくりの取組箇所数の増加により、花と緑のある良好な都市空間の創出を図ります。	快適空間づくり事業の取組箇所数の増加	

令和3年度行政評価結果一覧表

基本目標2：産業が元気で活力あるまちづくり											年度別KPI(目標値)					中間評価		二次評価	※基本施策目標は基準と最終年度のみの設定		
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主 担 当 課	担当係	副 担 当 課 連 携 課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度の 方向性	次年度の 方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み	
(1)新しい産業 づくりを推進 します	①	新しい事業 展開を支援し ます	38	起業・創業を支援します	地域経済課	産業企画係	起業・創業件数(5年間の累計)	累計 件数	R1 (H27- R1)	24	6	12	18	24	30	補助金は6件を交付決定し、5件が事業を開始している。残りの1件は12月に事業開始予定のため、達成する見込み。今後、講座は11月に、セミナーは2月に開催を予定している。起業希望者の開業準備の状況を随時確認し情報提供等している。	4.現状 維持	4.現状 維持	セミナー・講座や補助金等で、起業・創業を目指す意欲的な個人・団体を支援します。	起業創業支援事業補助金	
	②	企業の立 地と企業活 動しやすい 環境整備を推 進します	39	各種優遇制度により、様々な分野の優良企業等の進出・事業拡大を支援します	企画調整課	防災担当	地域経済課	奨励企業の新規指定数	社	R1	93	1	1	1	1	1	市内進出を検討している企業に対し奨励企業指定の利点説明した。今後進出を行うため、奨励企業申請が行われる見込み	4.現状 維持	4.現状 維持	企業設置奨励条例に基づき、優良企業等の進出・事業拡大を支援します。	企業設置奨励条例に基づく支援
		40	企業が立地したくなる環境づくりを推進します	企画調整課	防災担当	地域経済課	奨励企業の新規指定数	社	R1	1	1	1	1	1	1	市内進出を検討している企業に対し奨励企業指定の利点説明した。今後進出を行うため、奨励企業申請が行われる見込み	4.現状 維持	4.現状 維持	新たな工業用地など環境整備を検討し企業の誘致を推進します。	新たな産業団地などの検討	
(2)見 附型地 域産業 の育成 支援に 取り組 みます	①	がんばる 農林業者 に対する 育成支援 に取り組 みます	41	儲かる農業の実現に向けた取り組みを進めます	農林創生課	農業振興係 農政企画係	市民アンケート「ICT(情報通信技術)の整備状況や体制」満足度	百万 円	R1	4.6	32	58	84	110	110	生産拡大(販売額)については、R3目標の32百万円を達成する見込み。販売額のほとんどが市場出荷でしたが、市内消費の拡大を図るべく、今年度は「見附市産にら特製料理フェア」を4店舗で実施。見附産にらをPRすることができました。	3.拡大 (費用)	別紙1 参照	園芸作物の振興で農業者の所得増大と生産拡大を目指し、重点取り組み品目として「にら」を推奨し、生産と消費の両面の拡大による産地づくりに取り組みます。	経営所得安定対策推進事業、野菜づくり等応援事業(にら1億円産地育成計画)	
			42	農業担い手の育成・確保に取り組めます	農林創生課	農業振興係	農業担い手の農地面積割合	%	R1	59.6	62	64	66	68	70	担い手が耕作する農地面積の割合は、市内全農地面積のうち概ね60％となっており、今年度は61％から62％の間になると見込まれています。若手農家の就農や新たな法人の設立等を契機として、農地の集積・集約化が進められています。	4.現状 維持	4.現状 維持	農業の持続的な発展と農地の保全のため、担い手となる農業者や経営体を育成するとともに、新規就農者の確保・増大を図ります。	機構集積協力金交付事業、持続性の高い農業法人育成事業	
			43	地消地産を推進します	農林創生課	農政企画係	学校給食における地場産野菜の使用率(重量ベース)	%	R1	35.5	35	37	40	40	40	新たな供給体制で4月からスタートしています。4-7月実績で地場産供給率29.4％(同月実績：【R2】22.3％、【R1】25.9％)順調に新供給体制が機能しています。	4.現状 維持	4.現状 維持	地場産の園芸作物の生産振興を図るとともに、学校給食における地場産野菜の安定的な供給体制を構築し、地場産野菜の供給率の増加を目指します。	野菜づくり等応援事業、学校給食地場産野菜供給事業	
			44	農業生産基盤の確保・保全に取り組めます	農林創生課	農政企画係	多面的機能支払の取り組み実施率	%	R1	100	100	100	100	100	100	農地維持について、目標の100％実施は達成の見込み。なお、見附市広域協定では、今年度から新設された田んぼダム加算メニューを実施します。この取り組みにより、これまで課題であった貯水能力の安定確保を今後は図っていくことができます。	4.現状 維持	4.現状 維持	多面的機能支払(市内全集落1協定)に取り組み、農業者と地域住民の共同活動により、農地2,467haの維持管理を実施します。100％実施(取り組み面積／対象農用地面積)を目指します。	県営かんがい排水整備事業、多面的機能支払事業	
	②	がんばる 商工業者 に対する 育成支援 に取り組 みます	45	商工業者の販路拡大を支援します	地域経済課	繊維係	ニット組合の製造品出荷額	億円	R1	46	50	50	50	50	50	コロナ発生後の令和2年から、ニットを販売するデパートの休業、販売イベント、商談会の中止等によりニット販売額は大きく落ち込んでおり目標達成は困難と見込まれる。	4.現状 維持	4.現状 維持	高付加価値のニット製品の向上を図り、国内有数のニット産地としての維持継続を図れるよう支援します。	繊維産業販路拡大補助	
			46	新製品・新技術開発を支援します	地域経済課	地域産業係	売れる商品づくり推進事業補助金採択件数	件	R2	3	4	5	6	7	8	現時点での採択件数は3件であるが、その他の相談は無く、目標達成は見込めない。このことに伴い、来年の活用も見込めていない。今後の申請に繋がる掘り起こしが課題となる。	4.現状 維持	4.現状 維持	新製品開発や既存商品の磨き上げなど事業者の売れる商品づくりを支援します。	売れる商品づくり推進事業補助金、技術懇談会	
			47	企業の経営基盤の強化を支援します	地域経済課	産業企画係	設備投資応援補助金の申請件数(5年間の累計)	累計 件数	R1 (H27- R1)	24	6	12	18	24	30	令和3年度は申請4件(1次募集2件、2次募集2件)のため、未達成の見込み。4社のうち1社は過去に申請のなかった企業である。今後は過去に申請がない企業からも申請してもらえるよう広報する必要がある。	4.現状 維持	4.現状 維持	新規企業の設備導入を増やし、市内企業の経営力の向上を支援します。	設備投資応援補助金、制度融資	
			48	企業の連携強化に取り組めます	地域経済課	産業企画係	進出企業交流会の開催回数	回	R1	2	2	2	2	2	2	2	例年、6月と2月の年2回開催している。コロナ感染防止のため、6月の開催を中止したため、未達成の見込み。このまま新規感染者数が増加しなければ、2月は開催したい。	4.現状 維持	4.現状 維持	情報交換や人脈づくりを図る企業交流会を開催します。	進出企業交流会、製造業交流会等の開催
49	商店街など店舗の活性化に努めます	地域経済課	産業企画係	商店街など中心市街地での出店数(5年間の累計)	累計 件数	R1 (H27- R1)	11	1	2	3	4	5	2次募集で3件の申請・交付決定済み、3次募集でも2件の申請があり、目標達成済み。新規出店の流れの継続と商店街の活性化につなげる仕組みづくりが必要。	4.現状 維持	4.現状 維持	商店街など中心市街地での出店を支援し、店舗活性化を図ります。	まちなか賑わい事業支援補助金(空き店舗)				
50	事業を継続するための支援を行います	地域経済課	繊維係	技術講習会・インターンシップの参加者数	人	R1	9	20	20	20	20	20	20	コロナ発生後の令和2年から、首都圏との往来が困難になったためインターンシップは中止している。参加者数0人の為目標達成不可。	4.現状 維持	4.現状 維持	基幹産業であるニットの若手技術者の育成と担い手確保に支援します。	ニト塾・インターンシップの開催			

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を
兼ねるもの

基本目標2:産業が元気で活力あるまちづくり											年度別KPI(目標値)					中間評価			二次評価		※基本施策目標は基準と最終年度のみの設定	
基本施策	主要施策		通番号	主要事業	主担当課	担当係	副担当課 連 携 課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度 の 方向性	次年度 の 方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み	
(3)観光による地域経済の活性化を推進します	①	観光素材を磨き上げ観光の産業化を図ります	51	付加価値ある観光施設コンテンツの開発などの取り組みを進めます	地域経済課	地域産業係		行政視察モデルコース参加団体数	件	R2	6	6	7	8	9	10	コロナ発生後の令和2年から、移動が制限されたため、行政視察の件数は大きく落ち込んでいる。モデルコース参加団体数としての目標達成は見込めない。	4.現状維持	4.現状維持	市内企業や(一社)見附市観光物産協会と連携を図り、行政視察観光など付加価値の高い新たな観光メニューづくりに取り組みます。	モニターツアー誘致、ローズヒップティ、行政視察	
			52	ニットオープンファクトリーの充実を支援します	地域経済課	繊維係		オープンファクトリー来場者数	人	R1	9,246	9,600	9,700	9,800	9,900	10,000	コロナ発生後の令和2年から、工場見学の中止やバスツアーの中止などにより来場者数は大きく落ち込んでおり、目標達成は困難と見込まれる。	4.現状維持	4.現状維持	全国でも稀な工場直結のファクトリーアウトレットについてのPR強化と土日営業の支援をします。	プリメ이라土日営業支援	
(3)観光による地域経済の活性化を推進します			②	観光プロモーションの強化を図ります	53	「風づくり」や「まちあるき」など体験型コンテンツの活用を図ります	地域経済課	地域産業係		体験型コンテンツの参加数	人	R1	151	150	160	170	180	190	コロナの影響により、観光需要が低下したため、「風づくり」や「まちあるき」などの参加数は大きく落ち込み、目標達成は困難と見込まれる。	4.現状維持	4.現状維持	市民グループや地域コミュニティと連携し、「風づくり」や「まち歩きガイド」の活用を進めます。
	54	観光商談会や観光イベント等での見附の売り込みに努めます			地域経済課	地域産業係		県外観光イベント(とっておき百選など)来場者数	人	R1	11,610	10,000	10,200	10,400	10,600	10,800	コロナ発生後の令和2年から、大規模なイベント開催が困難となり、とっておき百選などは中止しており、目標は達成できない。	4.現状維持	4.現状維持	首都圏向け観光イベント「とっておき百選」を中心に広く見附の魅力をプロモーションします。	観光商談会、とっておき百選	
	55	各種メディアでの観光PRを強化します			地域経済課	地域産業係		観光WEBサイトの年間アクセス数	件以下	R1	72,000	72,000	129,000	186,000	243,000	300,000	コロナの影響により、観光需要が低下したため、思うようなアクセスがみられず、目標達成は困難。引き続き観光PRを強化するため、サイトの充実を図り、サイトの活用をPRする。	4.現状維持	4.現状維持	リニューアルした観光パンフレット(WEBサイト)により、見附の魅力の情報発信を推進します。	観光広告企画、観光パンフレットリニューアル、SNS情報発信	
(4)雇用対策を推進します	①	就業支援を行います	56	多様な働き方を支援します	地域経済課	産業企画係		専門相談員による相談受付件数	件	R1	536	500	500	500	500	500	10月末現在での専門相談員への相談件数は311件で、月平均44人の相談件数となる。年間相談件数500人は達成する見込み。	4.現状維持	4.現状維持	就業や労働環境等に関する様々な相談を相談を受け付け、多様な働き方を支援します。	専門相談員による相談室開設	
			57	地元就業に関する情報発信を充実します	地域経済課	産業企画係		新卒者向け求人情報の掲載企業数	社	R1	16	16	18	20	22	24	新卒者向け求人情報は毎年3月に発行しているため、KPI達成に向け企業に掲載を働きかける。	4.現状維持	4.現状維持	「新卒者向け求人情報」や「広報みつけ」で地元就業に関する情報を発信し、地元での就業を支援します。	雇用情報コーナーの設置、広報見附への掲載、新卒者向け求人情報の発行	
	②	企業の人材確保を支援します	58	地元企業の情報発信を支援します	地域経済課	産業企画係		市ホームページへの掲載企業数	社	R2	45	48	50	52	54	56	2社から掲載申請があり、現在は47社掲載。KPIは達成できる見込み。就業希望者の目に留まるようにホームページを見やすくするなど工夫を加え、掲載を希望する企業をもう1社募る。	4.現状維持	4.現状維持	魅力あふれる地元企業の情報をホームページに掲載することで興味を持ってもらい、企業の人材確保を支援します。	魅力あふれる地元企業の情報をホームページに掲載	
			59	地元企業への定着・人材育成を支援します	地域経済課	産業企画係		新人社員合同研修会参加者数	人	R2	37	40	40	40	40	40	11月に開催予定。コロナ感染防止対策のため定員を30人としており、未達成の見込み。感染拡大も落ち着いていることから、定員の30人を超えて申込があった場合は全員が参加できるよう工夫したい。	4.現状維持	4.現状維持	夏季休業期間に、保護者、地域、行政がそれぞれ特色を生かした講座を提供することで、市民総がかりで創る「わくわく体験塾」の充実を図ります。	新人社員合同研修会の開催	

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を
兼ねるもの

基本目標3:安全安心な暮らしやすいまちづくり											年度別KPI(目標値)					中間評価		二次評価	※基本施策目標は基準と最終年度のみの設定	
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主 担 当 課	担当係	副 担 当 課 連 携 課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度の 方向性	次年度の 方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み
(1)災害に強いまちづくりを推進します	① 災害への対応能力の向上に努めます	60	地域の力を生かしながら、災害に的確に対応できる仕組みづくりを推進します	企画調整課	防災担当		自主防災組織の組織率	%	R1	93	95	97	100	100	100	未結成町内へ新規結成を呼び掛けたが、新規での結成に至らなかった。KPIの達成に向けて、今後も結成を呼びかける必要がある。	4.現状維持	4.現状維持	自主防災組織未結成の町内への働きかけ、災害に対応できる仕組みづくりを推進します。	自主防災組織防災資機材補助、避難インフルエンサー、地域住民の協力による避難所運営
		61	市民参加による防災訓練の実施、原子力防災に関する情報提供、防災システムの充実により、災害に強い体制づくりを推進します	企画調整課	防災担当		総合防災訓練の参加者数	人	R1	11,681	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	今年度は新型コロナウイルスの影響により、従来の訓練とは異なる開催要領や参加者の制限もあり、KPI目標値とは大きく異なり参加者数は減少した。次年度は訓練の実施内容を現在検討中であるが、KPIの目標達成につなげていきたい。	4.現状維持	4.現状維持	防災訓練参加の意義の啓発し、訓練参加者数の増加を図ります。	総合防災訓練、原子力防災訓練
	② 災害に強い社会基盤整備を図ります	62	災害時における情報収集や確実な情報伝達の体制を強化します	企画調整課	防災担当		緊急情報メールの登録者数	人	R1	10,111	10,500	10,800	11,100	11,400	11,700	転入者への案内や行事等での新規登録の案内を行い、KPI達成となっている。今後も市民に向けて情報収集ツールの一つであることをPRして登録者数の増加につなげる。	4.現状維持	4.現状維持	緊急情報メールの登録を促進し、災害時の情報収集や確実な情報伝達の体制を強化します。	災害情報収集・発信ツール導入・改良等の検討
		63	上下水道施設の耐震や耐水化を図ります	上下水道局	水道建設係		水道管路耐震化率	%	R1	34.9	35.6	36.1	36.6	37.1	37.6	R3年度は老朽管の更新による耐震化を1.3Km発注し、年度内完了を予定している。R3年度目標値は達成の見込み。	4.現状維持	4.現状維持	耐震性のない導配水管を耐震管へ更新します。	今町処理場耐震化、導配水管の耐震化
		64	災害に強い道路整備を推進します	建設課	農業振興係 農政企画係		市民アンケート「ICT(情報通信技術)の整備状況や体制」満足度	累計km	R1	0.3	0.4	0.7	1.0	1.2	1.8	令和3年度は、市道学校町南本町線ほか4路線で新規に幹線道路整備を進めた結果、合計で370mの整備を完了する予定であり、目標を達成する見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	災害時において緊急車両の通行を確保するため、幹線道路の改良を進めます。	道路改良事業(幹線)
65	雨水幹線整備など市街地の浸水対策を推進します	上下水道局	下水道建設係		雨水渠整備延長(年)	m/年	R2	89	200	290	310	今町排水区調査・設計	今町排水区調査・設計	R3年度は交通の影響を少なくするため施工区間を決定したため実績はL=140mの完了となる予定。最終年度まで全区間の施工を予定しているため、年度によって実績に増減が生じる。	4.現状維持	4.現状維持	貝喰川右岸排水区、今町排水区の雨水渠の整備します。	雨水幹線整備、調整池整備など		
66	河川改修等の災害対策を促進します	建設課	工務係		新規に整備(改良)された排水路の箇所数(5年間の累計)	累計箇所	R1	0	1	1	2	2	3	令和3年度は、釈迦塚町の地区内で新規に改良を進めた結果、合計で1路線で排水路整備を完了する予定であり、目標を達成する見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	浸水被害を減らすため、排水路等の改修を進めます。	河川改良事業、排水路改良事業		
67	水田の貯水機能を活用した田んぼダムの取り組みを推進します	農林創生課	農林整備係		田んぼダム調整管の設置率	%	R1	94.9	100	100	100	100	100	基本目標基準値と同等となる見込みである。事業としての目的は概ね達成している。今後もこの状況を維持していく必要がある。	4.現状維持	4.現状維持	見附地区ほ場約1,200haを活用した田んぼダムを永続的に機能させるため、地域ぐるみで調整管の適正な維持管理に取り組みます。(調整管設置数/田区排水口箇所数)	田んぼダム事業		
(2)消防・救急体制を整備します	① 消防体制の充実を図ります	68	消防施設・装備の充実、人材育成を図ります	消防本部	庶務係		消防職員の教育・研修機関への派遣数	人	R1	10	10	10	10	10	10	消防車両及び装備の計画的整備は概ね予定どおり進んでいる。消防学校等の研修は一部中止となった学科もあるが、目標値の達成は見込まれる。	4.現状維持	4.現状維持	より一層の専門的な知識・技術の習得に努めることにより、消防職員の人材育成を図ります。	消防車両及び装備の計画的整備 消防学校等教育機関での研修受講
		69	消防団の活性化を図ります	消防本部	消防団係		消防団員の実員数	人	R2	554	560	570	580	590	595	消防団員の確保対策として、機能別消防団員を採用し新たな取り組みを行ったが、10月末現在、549名と減少傾向で、目標値の達成はやや厳しい状況である。消防団員の処遇の改善等を検討し、消防団員の確保に努めていきたい。	4.現状維持	4.現状維持	消防団員の確保対策を徹底し、組織の強化と活性化を図ります。	消防団車両及び装備の充実強化 消防団員の処遇の改善
		70	市民の防火意識の高揚を図り、地域防災を担う人材の育成と協力体制を推進します	消防本部	警防係		消防機関と連携訓練を実施した自主防災組織数	組織	R1	11	15	15	15	15	15	新型コロナウイルスの影響もあり、自主防災組織との連携訓練ができていない状況である。感染防止対策を徹底し連携訓練ができないか検討していきたい。	4.現状維持	4.現状維持	消防職・団員と自主防災組織の連携訓練を実施し、地域防災力の向上を図ります。	自主防災組織と連携した訓練の実践 幼少期からの防災教育の実施
	② 火災予防に取り組めます	71	住宅の防火対策を強化します	消防本部	指導広報係		住宅用火災警報器の設置及び維持管理の啓発活動件数	件	R2	281	300	300	300	300	300	10月末現在、高齢者世帯135世帯に防火訪問指導を実施しており、住宅用火災警報器の普及と適切な維持管理に努めている。概ね予定どおりの進捗状況で目標値の達成が見込まれる。	4.現状維持	4.現状維持	住宅用火災警報器の設置状況調査及び高齢者世帯への防火訪問指導を通じて、住宅用火災警報器の普及啓発と適切な維持管理に努めます。	高齢者世帯への防火訪問指導 住宅用火災警報器の普及促進
	72	大型店や事業所など、多数の人が利用する建物の安全を図ります	消防本部	指導広報係		立入検査実施棟数	棟	R2	400	400	400	400	400	400	400	10月末現在、消防用設備設置対象物317棟、小規模飲食店22店、危険物施設110施設、合計449件の立入検査を実施し、法令遵守等を適切に指導している。	4.現状維持	4.現状維持	防火対象物及び危険物施設等への立入検査を実施し、消防用設備等の維持管理、防火管理体制、法令遵守状況を適切に指導し、火災予防に努めます。	防火対象物及び危険物施設への立入検査
③ 救急・救助体制を充実します	73	高度な救急救命処置や救助活動が可能な体制づくりを推進します	消防本部	救急指導係		救急救命士の研修受講率	%	R1	100	100	100	100	100	100	新型コロナウイルスの影響で、実技研修が多く中止となった。その他の研修は概ね計画どおり進捗しており、目標値の達成が見込まれる。	4.現状維持	4.現状維持	救急救命士の再教育体制を充実・強化し、高度化する救急業務を適切に遂行します。	救急救命士の養成及び各種研修受講 救急・救助資機材の計画的整備	
	74	応急手当の知識・技術を普及し、救命率の向上に取り組めます	消防本部	救急管理係		救急講習会の受講者数	人	R1	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	新型コロナウイルス感染防止対策により、救急講習会の中止や人数制限等を設けたことから、10月末現在、救急講習会受講者数は680人と減少している。感染防止対策を徹底し、応急手当普及活動を推進していく。	4.現状維持	4.現状維持	救急講習会を推進し、市民による応急手当を増加させ、救命率の向上を目指します。	救急講習会の実施

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を兼ねるもの

基本目標3:安全安心な暮らしやすいまちづくり											年度別KPI(目標値)					中間評価		二次評価	※基本施策目標は基準と最終年度のみの設定	
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主 担 当 課	担当係	副 担 当 課 連 携 課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度の 方向性	次年度の 方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み
(3)地域の安全安心の確保に取り組みます	①安全安心な暮らしづくりに取り組みます	75	地域ぐるみの防犯活動を支援します	総務課	行政係	学校教育課	市内での犯罪発生件数	件以下	R1	170	170	170	170	170	減少	見附市内の犯罪発生件数は、9月末時点で96件で、前年同月比－2件でほぼ横ばいで推移している。今年度の防犯対策としては、市内約10箇所に防犯カメラを設置する予定。	4.現状維持	4.現状維持	小学校において警察と連携した防犯訓練を実施することで地域の防犯意識を高めるとともに、緊急情報メールの発信により地域の安全安心を推進し、犯罪発生件数を抑制します。	防犯訓練、緊急情報メール
		76	防犯灯の設置など、防犯環境を整備します	建設課	維持係	総務課	防犯灯LED化率	%	R1	66.1	83.1	87.3	91.5	96.0	98.0	令和3年度は町内への周知活動を行うと共に市管理の防犯灯のLED化を進めた。町内管理の防犯灯のLED化率を進めるためより一層の周知活動を行う。	4.現状維持	4.現状維持	防犯灯設置更新補助事業制度の周知を図り、設置率の向上に努めます。	防犯灯設置更新費補助事業
		77	交通安全のための環境整備に取り組みます	総務課	管財係	建設課	交通事故発生件数(1/1～12/31)	件以下	R1	53	50	50	50	50	50	市内の交通事故発生件数は9月末時点で24件で、前年同期間で－13件と減少傾向にあり、目標達成の見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	交通安全に関する知識を広めるため、保育園・小学校における交通安全教室や高齢者向けの交通安全等啓発活動等を実施し、また、警察・交通安全協会・交通指導員等の協力のもと啓発イベントや街頭指導などの啓発活動も進め、交通事故発生件数の抑制に努めます。	道路照明灯修繕計画
		78	消費者被害防止のための啓発・相談の充実に努めます	市民生活課	市民相談・年金係		消費生活講演会・講座・啓発活動等開催数	回	R1	7	8	8	8	8	8	今年度は現時点で啓発活動を4回開催していることから達成見込みであるが、R3年度末をもって見附市消費者協会が解散となることから、市と協会が共同で行なっていた啓発事業の部分が廃止となることから、来年度以降は若干縮小となる見込みである。	5.縮小	別紙1参照	消費者被害防止のための講座・講演会の開催、市及び見附市消費者協会による各種啓発活動を行います。	消費生活相談、消費者力UP講座、消費生活講演会
	②危険空き家等の対策に取り組みます	79	管理不全な空き家等の適正管理を促します	市民生活課	生活環境係		認定空き家件数	件	R1	18	16	15	14	13	12	R3に特定空き家が1件改善し残り17件となった。これら特定空き家の所有者等に対し、市民の安心安全のため引き続き指導等を粘り強く行い、改善につなげていく。老朽化し危険な空き家をこれ以上増やさないため、市としてどのようにしていくのが課題である。	4.現状維持	4.現状維持	特定空き家対策を行い、特定空き家(老朽危険空き家)の減少に努めます。	特定空き家対策(助言⇒指導⇒勧告⇒命令⇒強制執行の流れで、管理者にアプローチ)
		80	管理不全な空き家等の発生を抑制する取り組みを進めます	企画調整課	企画・定住	市民生活課・関係各課	空き家バンク掲載件数(5年間の累計)	累計件数	H27～R1平均	11	10	20	30	40	50	今年度掲載物件数は10月末現在で14件となり、目標達成済み。現在不動産協会に6物件調査依頼中で、さらに掲載数が増える予定。	4.現状維持	4.現状維持	見附不動産協会と連携して空き家バンクの運営を行うとともに、所有者への利活用の働きかけによる、掲載件数の増加を図り、空き家の発生を抑制します。	空き家バンク、空き店舗対策、見附市空家等対策計画
(4)歩いて暮らせるまちづくりに取り組みます	①コンパクトシティの形成と誘導に取り組みます	81	立地適正化計画のもと、生活サービス機能や居住の誘導を図り、機能的で利便性の高いまちづくりを進めます	建設課	都市計画係	まちづくり課	居住誘導区域内に住み替えた人への住宅取得補助件数	件	H27～R1平均	32	30	30	30	30	30	市野坪地区の分譲住宅の新築数が落ち着いた傾向があるが、今年度分譲された地区の売れ行きにより、目標値に近づくことが期待できる。	4.現状維持	4.現状維持	夏季休業期間に、保護者、地域、行政がそれぞれ特色を生かした講座を提供することで、市民総がかりで創る「わくわく体験塾」の充実を図ります。	まちなか賑わい拠点施設の利用促進、断熱改修等リフォーム事業補助金、定住促進・健康住宅取得補助金、住替え促進中古住宅取得補助金
		82	見附駅周辺整備事業を推進し、都市機能の誘導に取り組みます	企画調整課	都市政策室	建設課・上下水道局	駅周辺イベントのイベント開催数	回/年	R1	3	2	2	2	2	2	9月～10月頃にかけてイベントの実施を計画していたが、コロナ感染症拡大を考慮し中止とした。現在はコロナ感染症の状況も収まってきたので、1月頃を目標に、駅周辺ではなく別会場にて、イベント実施を計画中。また、来年度には駅駐輪場2階の交流施設のオープンを予定しているため、指定管理者の募集要項を検討中。	4.現状維持	4.現状維持	駅周辺の渋滞緩和、公共交通の結節点機能の向上、交流機能の強化を目的として駅周辺の再整備に取り組みます。多くの人が利用する駅の特性を生かし、市民自らでイベントを開催することで賑わいを創出し、都市機能の誘導へと繋げます。	見附駅周辺整備事業、関連ソフト事業
	②持続可能な集落地域づくりに取り組みます	83	地域コミュニティゾーンにおいて、コミュニティが持続できる環境を整えます	建設課	都市計画係		地域コミュニティゾーン内に住み替えた人への住宅取得補助件数	件	H27～R1平均	5	5	5	5	5	5	地域コミュニティゾーン内での中古住宅取得数、市外からの転入者(分家住宅等)による新築数の今後の見込みが不透明であるため、達成できるか微妙である。	4.現状維持	4.現状維持	地域コミュニティゾーンへの住み替えに対する補助等により、日常生活やコミュニティ活動が持続できる環境づくりに努めます。	断熱改修等リフォーム事業補助金、定住促進・健康住宅取得補助金、住替え促進中古住宅取得補助金
	③まちなかの賑わいづくりに取り組みます	84	まちなかに人を呼び込み交流する機会づくりに取り組みます	地域経済課	地域産業係		商店街などが実施するまちなか賑わい事業の実施数	回	R1	4	4	5	6	7	8	感染症対策を講じ、商店街や市民活動団体がイベントを行っており、目標達成の見込み。感染症対策と賑わいづくりの両立が課題。	4.現状維持	4.現状維持	商工会や商店街、市民活動団体などが実施するまちなか賑わい事業や仕組みづくりを支援します。	まちなか賑わい補助金(イベント)、エリアマネージャ、商店街の仕組みづくり・働きかけ
		85	地域コミュニティ等との連携によるイベント開催など賑わいづくりに取り組みます	地域経済課	地域産業係	まちづくり課	地域コミュニティ等との連携イベントの回数	回	R1	13	13	14	15	16	17	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度はイベントを実施していないため、目標達成は困難。今後のイベントの在り方について検討が必要。	4.現状維持	4.現状維持	まちなかマルシェなどの賑わいづくりイベントを地域コミュニティ等と連携し開催します。	手しごと市、まちなかマルシェ
	④歩きたくる快適な歩行空間を整備します	86	快適で安心して歩くことのできる歩道や環境の整備を進めます	建設課	工務係		バリアフリー化された歩道延長	累計km	R1	39.2	39.5	39.7	39.8	39.9	40.3	令和3年度は、市道柳橋傍所線ほか3路線で歩道新設を進めた結果、合計で210mの歩道整備を完了する見込みである。課題としては、効率的な歩道整備を推進するために優先順位付け基準を整理し、それに基づく計画を策定する必要がある。	4.現状維持	4.現状維持	歩きやすく快適な歩行空間のため、段差解消等バリアフリー化を行った歩道の整備を進めます。	歩車道分離整備(歩道整備事業)
		87	歩行者と車が共存できるよう安全に配慮した道路整備を推進します	企画調整課	都市政策室		まちなか散策路の整備箇所数(5年間の累計)	累計箇所	R2	1	2	3	4	5	6	今年度はネーブル～ほととぎの間のまちなか散策路を整備した。整備に併せてキャンペーンを実施し、見附小とのコラボ企画や、コース上にあるポケットパークに芝生や遊具を設置するなど、認知度向上と利用促進を図った。累計2か所	4.現状維持	4.現状維持	駅と市内の主要な交流施設を徒歩で結ぶまちなか散策路を整備し、歩くまちづくりの推進を図ります。併せて、路面サイン等にQRコードを埋め込みコースマップをwebサイト上で確認できることで、スマホで簡単に参加できる環境を構築します。	歩車道共存整備(まちなか散策路・ゾーン30・グリーンベルト事業)
		88	歩行者と車が共存できるよう安全に配慮した道路整備を推進します	建設課	工務係		新規に歩行者と車が共存できる歩道拡幅された道路延長(5年間の累計)	累計km	R1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	0.7	令和3年度は、市道細越嶺崎線で歩車共存できるよう拡幅整備を進めた結果、合計で160mの整備を完了する予定であり、目標以上を達成する見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	歩行者と車が共存できるため、安全に配慮した歩車道共存道路の整備を進めます。	歩車道共存整備(まちなか散策路・ゾーン30・グリーンベルト事業)

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を兼ねるもの											年度別KPI(目標値)					中間評価		二次評価	※基本施策目標は基準と最終年度のみの設定	
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主 担 当 課	担当係	副 担 当 課 連 携 課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度の 方向性	次年度の 方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み
(5)利便性の高い交通体系づくりを推進します	①	地域公共交通の利便性向上を図ります	89	地域公共交通機関の整備や連携強化を図ります	企画調整課	都市政策室	公共交通空白地域の解消率	%	R2	92.6	93	94	95	96	97	空白地域の解消に向けて、課題であった葛巻地区へのコミバスルート変更を計画し、今年度はそのための準備作業を進めている。概ね順調に進んでおり、来年度からルート変更となれば解消率の向上が見込まれる。	4.現状維持	4.現状維持	公共交通を利用して気軽に移動ができるように、各種交通手段の連携強化や運行ルートの改善等を図り、公共交通空白地域の解消を進めます。	コミバス運行ルートの改善、公共交通網形成計画の見直し
			90	地域公共交通を利用しやすい環境づくりを進めます	企画調整課	都市政策室	バス待ち時間の向上	分	R2	27.9	27	26	25	25	25	運行間隔のニーズ調査から、朝夕のコアタイムを20分間隔に、他の時間帯は30分間隔とし、他にも駅発の時刻を正時刻にすることで、運行ダイヤの分かり易さを意識した。電車の発着時刻に合わせる形では無く、コミバスを平準的に運行する形に変更したが、市民からの苦情は例年より少ない状況。	4.現状維持	4.現状維持	コミュニティバスの運行本数の増加により、待ち時間の短縮を図り、利用者の利便性の向上を図ります。	低床バスの導入、見附駅周辺整備事業ります。
	②	安全な道路網の整備と維持管理を推進します	91	身近な生活道路となる市道を整備します	建設課	工務係	新規に整備(改良)された生活道路の延長	km	—	—	調査	設計	0.1	0.1	0.2	令和3年度は、市道庄川細越線で生活道路整備のための用地測量及び物件補償調査を順調に進めており、目標を達成する見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	効率的で快適かつ安全な道路網の推進を図るため、生活道路の改良を進めます。	道路改良事業(生活道路)、自転車ネットワーク路線整備
			92	道路等の適宜かつ効率的な維持管理に努めます	建設課	維持係	市民アンケート「生涯学習環境の充実」	%	R1	0	7.7	17.0	27.6	39.7	50.4	令和3年度は大河津線ほか6路線で修繕工事を行った結果12,099m2を行う予定で目標以上を達成する見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	舗装修繕計画に基づく修繕を実施し、道路等の適宜かつ効率的な維持管理に努めます。	舗装等道路施設修繕計画に基づく修繕
			93	橋りょう等の長寿命化を図るため、適切な維持管理に努めます	建設課	維持係	市民アンケート「男女が共に活躍するまちづくり」満足度	%	R2	4.3	8.7	21.7	34.8	39.1	43.5	令和3年度は千刈跨線橋の修繕を進めたが、関係機関との協議により完了しなかった。次年度以降順次修繕を行い目標値に達する予定である。	4.現状維持	4.現状維持	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、適切な維持管理に努めます。	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕
(6)住みつがれる環境づくりに取り組みます	①	健康な住まい環境づくりを支援します	94	居住性を高めた健康住宅の普及を推進します	建設課	都市計画係	健康住宅数(健康住宅取得補助＋断熱補助件数)(5年間の累計)	累計件数	R1	549	985	1135	1285	1435	1585	年度後半に目標値を超える新築件数を見込めることから、目標値を達成できる見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	CASBEE(キャスビー)戸建基準を参考に、市が独自に策定した見附市定住促進・健康住宅取得判定基準に合致する新築住宅建設に対する補助や、ヒートショック対策につながる断熱改修等リフォーム工事に対する補助を行います。	断熱改修等リフォーム事業補助金、定住促進・健康住宅取得補助金
			95	優良な宅地の整備を誘導します	企画調整課	都市政策室	建設課・上下水道局	ウエルネスタウンの分譲数	累計区画	R2	21	25	30	35	40	45	昨年度は補助金もあり7区画を分譲できたが、今年度は分譲できていない。購入者のインタビューをHPIに掲載する等、居住者の視点からウエルネスタウンの魅力をPRしているが、分譲に結び付いていない。目標値を達成するため、次年度で補助金の実施を検討中。	4.現状維持	4.現状維持	市自ら開発する住宅地の分譲を通じて街並みを形成し、健康的に暮らせる住環境のモデルとして周知啓発を図り、優良な宅地の整備を誘導します。
	②	世代に応じた住み替えを支援します	96	「住み替え」を支援します	建設課	都市計画係	増加住宅数(新築件数＋中古住宅流通件数)	件/年	R1	169	160	160	160	160	160	市野坪地区の分譲住宅の新築数が落ち着いた傾向があるため、今年度分譲された地区等の新築状況による。目標値の件数まで達成できるかは微妙である。	4.現状維持	4.現状維持	新築及び中古住宅の取得に対する補助等を通して、世代やライフスタイルに応じて、変化する住宅ニーズや住環境に対応した「住み替え」の支援を図ります。また、空き家バンクの活用を促し、「住み替え」がしやすい環境づくりを推進します。	定住促進・健康住宅取得補助金、住替え促進中古住宅取得補助金
			97	中古住宅の流通を促進します	企画調整課	企画・定住	空き家バンクの閲覧件数	件	R1	20,750	21,500	22,000	22,500	23,000	23,500	10月末現在の「豊かな住まい」は、17,711回で進捗率82%。概ね順調に推移している。今年度掲載物件数14件で昨年を超えている。現在不動産協会に6物件調査依頼中で、今後も掲載数が増えるため、閲覧数も上がり、目標を達成する見込み。	4.現状維持	4.現状維持	見附不動産協会と連携して空き家バンクの運営を行うとともに、所有者への利活用の働きかけによる、掲載件数の増加により、閲覧数・成約件数の増加を図り、中古住宅の流通を促進します。	空き家バンクの運営、利活用の掘起し、住替え促進中古住宅取得補助金
								98	企画調整課	企画・定住	空き家バンクの活用件数(5年間の累計)	累計件数	R1	13	6	12	18	24	30	「豊かな住まい」掲載物件のうち、10月末現在で8物件が成約済みで目標達成済み。
(7)快適な住環境確保のため、ライフラインの充実に努めます	①	ライフラインなどの整備に努めます	99	污水处理施設整備による生活排水対策を図ります	上下水道局	下水道建設係	下水道普及率	%	R1	97.3	97.8	98.1	98.3	98.4	98.5	R2年度末(R3.3.31)現在の下水道普及率は97.7%であり、現在も整備を推進していることから、R3年度目標の97.8%の目標は達成される見込み。	4.現状維持	4.現状維持	下水道区域で未整備地区の污水管渠整備、浄化槽区域の合併浄化槽設置を推進します。	下水道管整備、合併浄化槽設置の推進、下水道施設の統廃合の検討
			100	水道の安定供給を図ります	上下水道局	水道建設係	市民アンケート「市民と行政によるまちづくりの推進」満足度	km/年	R1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	老朽管を1.3Km発注済。補償工事による布設替えを含めR3年度目標値は達成の見込み。	4.現状維持	4.現状維持	耐用年数を経過した老朽管の更新します。	配水管更新
			101	公営住宅の適正な維持管理に努めます	建設課	監理係	長寿命化計画による公営住宅の修繕実施箇所数	箇所	R1	1	0	1	1	1	1	令和3年度は、長寿命計画に基づく修繕は予定実績とものしにて、目標は達成する見込みである。。	4.現状維持	4.現状維持	公営住宅における長寿命化のため、確実な点検の実施と長寿命計画における計画的な維持管理修繕を適正に実施します。	公営住宅等長寿命化計画の大規模修繕
	②	暮らしを守る雪対策を推進します	102	冬期の道路交通と歩行空間を確保します	建設課	維持係	見附市道除雪率	%	R1	78.5	78.5	79.0	79.0	79.5	79.5	除雪計画と雪みち計画に基づき除雪を行う予定で目標は達成する見込みである。	4.現状維持	4.現状維持	除雪委託業者及び除雪機械を拡充し、冬期の道路交通と歩行空間の環境を整備します。	除雪計画・雪みち計画に基づく除雪の実施
			103	地下水の利用適正化を図ります	建設課	維持係	市民アンケート「広報・広聴活動」満足度	%	R1	23	40	50	50	55	60	令和3年度は節水型消雪装置を5基設置する見込みで目標に達しない見込みである。地元の理解が必要なため今後も一層の周知を図ります。	4.現状維持	4.現状維持	節水型消雪施設設置補助金制度の周知を図り、設置率の向上に努めます。	節水型消雪施設設置補助事業

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を兼ねるもの

基本目標4：人が育ち人が交流するまちづくり ※基本施策(1)～(4)は「見附市教育大綱」の役割も兼ねる											年度別KPI(目標値)					中間評価		二次評価	※基本施策目標は基準と最終年度のための設定	
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主担当課	担当係	副担当課 連携課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度 の方向性	次年度 の方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み
(1)子育て環境 の充実に努めます	① 仕事と子育てが両 立できる環境を整 備します	104	多様なニーズに対応した保育サービス を提供します	こども課	幼児家庭係		未満児保育申込数に対する受入 れ人数の割合	%	R2	93	90	92	94	96	98	R3.4月現在で、未満児申込数に対する受入れは272人申込、 263人であり、96.7%であった。入園可能な数は確保できて おり、厚労省の基準である待機児童はいないが、より精度を上 げるよう努めたい。	4.現状 維持	4.現状 維持	就労により保育が必要な家庭の児童を受入れる 体制を整えます。	未満児保育や早期延長保育、病後児保育等
		105	安全安心に子どもが過ごせる場所の 整備など、児童を取り巻く環境の充実 を図ります	こども課	幼児家庭係	まちづくり 課・学校教 育課	放課後児童クラブ入会希望者数 に対する登録児童数の割合	%	R2	90	92	94	96	98	100	R3.4現在、470人申込441人の利用で93.8%であった。放課後児 童クラブの増設や、正確な家庭状況の把握に努めることで、待機児童 は解消することができた。しかし、1施設当たりの利用者が多い施設が あるため、引き続き増設などを努めたい。	4.現状 維持	別紙1 参照	放課後等に保護者が不在の家庭の小学生が安全・安心に活動できる場所を確保します。	放課後児童クラブや子どもの居場所の整備
		106	企業に対し、両立できる職場環境づく りを働きかけます	地域経済課	産業企画係	こども課	職場環境づくりに関するセミナー などの情報提供回数	回	R1	2	2	2	2	2	2	「男性の育児休業取得に対する助成金」、「理想の職場づくりに 向けたコーディネーター派遣」についての案内をeネットで配 信。KPIは達成。	4.現状 維持	4.現状 維持	職場環境づくりに関するセミナーの案内を産業 応援eネットで配信し、働きやすい環境づくりを 支援します。	産業応援eネットによる情報発信
	② 安心して妊娠・出 産できる環境を整 え、子育て支援体 制を整備します	107	子育て支援センターなど、頼りになる 支援拠点づくりとネットワーク化を図 ります	こども課	元氣子育て係	まちづくり 課・学校教 育課	あそびの広場利用組数(1日当り)	組	R1	48	50	50	60	60	60	新型コロナウイルス感染拡大以降、利用組数が減少している が、R2.4月～11月の利用組数平均28.9組に比べ、R34月～ 11月の利用平均組数は30.8組と増加傾向にある。今後、利用 組数の増加に努める。	4.現状 維持	4.現状 維持	子育て家庭の不安感や孤立感を解消すること を目的として、日常的に気軽に交流できる遊び の広場を開設します。	子育て支援センター
		108	子育てに関する相談体制・支援体制の 充実を図ります	こども課	農薬振興係 農政企画係	学校教育課	市民アンケート「ICT(情報通信技 術)の整備状況や体制」満足度	回	R1	3	3	3	3	3	3	乳幼児健康診査の案内や当日に「ネウボらみつけ」のチラシを配布、相 談につなげている。また、各保育園・こども園に協力をいただき、「すく すく園児応援事業・わたぼうし」のチラシを全家庭に配布し、相談窓口 の周知を行っている。	4.現状 維持	4.現状 維持	乳幼児健康診査、各保育園・こども園、小・中学 校で周知チラシを配布し、相談窓口を活用して もらいやすい体制を整備します。	ネウボラでの発達支援相談、すくすく園児応援 事業、就学支援相談
		109	地域全体で子育てを応援する環境の 整備を図ります	こども課	元氣子育て係	まちづくり 課	この地域で子育てをしたいと思う 親の割合 (3歳児健診)	%	R1	98	98	98	98	98	98	R3.9現在3歳児健診受診者114人中112人が「そう思う」「ど ちらかといえそう思う」と回答。98.2%。	4.現状 維持	4.現状 維持	地域全体で子育てにやさしいまちづくりをめざ し、ファミリーサポートセンターや赤ちゃんの駅 の維持向上を図ります。	ファミリーサポートセンター、赤ちゃんの駅
		110	安全安心な妊娠・出産環境の整備を図 ると共に、健診等により母子保健の充 実を図ります	こども課	元氣子育て係		乳幼児健康診査の受診率 (3歳児健診)	%	R1	98	98	98	98	98	98	乳幼児健康診査の受診率は9月末現在90.5%だが、今後、 未受診者へ受診勧奨を継続し目標は達成の見込みである。	4.現状 維持	4.現状 維持	妊婦健診を14回公費負担し、受診しやすい体 制整備を継続していきます。乳幼児健診では疾 患の早期発見を行います。また、ネウボらみつ けで妊娠中や育児不安などの相談に対応しま す。	妊婦・乳幼児健診、産前産後サポートや産後ケ ア事業等
		111	医療費助成等により、子育て世代の経 済的負担軽減を図ります	こども課	元氣子育て係		妊産婦医療費助成延べ件数	件	R1	1,513	1,500	1,550	1,550	1,600	1,600	9月末現在で延べ件数は590件となっている。基準値のR1 年度とほぼ同様の水準であり、達成見込であるが、今後も周 知・申請勧奨を行っていく。	4.現状 維持	4.現状 維持	妊娠届出日から出産した月の翌月までの保険 診療分医療費の一部を助成し、経済的負担の軽 減を図り、安心して出産を迎えられるようにし ます。	子ども医療費や妊産婦医療費の助成、子育て応 援カード等
	② 豊かな人間性と社 会性の育成を図り ます	112	主体的・対話的で深い学びを実現し、 「どの子もわかる授業づくり」を大切に した教育を推進します	学校教育課	学校教育係		児生共通アンケート「先生は学力 が付くように熱心に教えてくれま すか」肯定的評価	%	R1	98	95	95	95	95	95	令和3年度前期の児童生徒アンケートから、市内の児童生徒の 98%が、教師に対する肯定的な評価をしている。引き続き教 師の指導力を向上させ、学力の向上へとつなげていく。	4.現状 維持	4.現状 維持	中学1年生英検5級補助や、夏季休業中にわかるでできる実感 塾を開催することにより、英語に対する興味関心を高めた り、その細やかな指導を充実させたりします。また部活動外 部顧問制度を充実させ、教職員の子どもと向き合う時間を 創出します。	師がく、指導力向上ドック、英検5級補助、わか るでできる実感塾、部活動外部顧問
		113	教職員の資質及び指導力の向上を図 ります	学校教育課	学校教育係		師がく受講者肯定的評価	%	R1	98	95	95	95	95	95	令和3年度前期の教職員アンケートから、師がく受講者の98% が肯定的な評価をしており、意義があると捉えている。教師の 指導力向上のため、引き続き実施していく。	4.現状 維持	4.現状 維持	年間2回のマンツーマン研修「師がく」や「新教 師の10か条」を活用した授業改善を進め、児童 生徒の学力向上を図ります。	師がく、指導力向上ドック、四時から夢塾等の実 施
		114	読書活動や環境教育、ICT教育を進 め、時代に応じた多様な学びの場を充 実します	教育総務課	教育総務課	学校教育 課・こども 課	図書館・小学校連携システム予約 冊数	冊	R1	2,389	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	9月末現在1,243冊でおおむね例年並みだが、新型コロナウイ ルス対策のため、学校での本の紹介事業の中止等による貸出 冊数の減少が見込まれる。	4.現状 維持	4.現状 維持	図書館と小学校(見附小学校を除く7校)の蔵書 データをシステム連携し、学校から図書館の蔵 書を一括検索・予約することで読書の推進を図 ります。	図書館連携、GIGAスクール、プログラミング教育
		115	豊かな体験活動等による心の教育を 推進します	学校教育課	学校教育係	こども課	児生共通アンケート「人の役に立 つ人間になりたいと思いますか」 肯定的評価	%	R1	95	90	90	90	90	90	令和3年度前期の市の児童生徒アンケートから、小学生の 94%、中学生の94%が役に立ちたいと思っている。	4.現状 維持	4.現状 維持	一人一人が考え議論する道徳科の授業改善を 図ることにより、児童生徒の豊かな心を育成し ます。	考え議論する道徳授業の推進
		116	生徒指導上の諸問題の未然防止及び 即時対応を充実します	学校教育課	学校教育係	こども課	保護者共通アンケート「学校は児 童生徒の人間関係に対して適切 に対応していると思いますか」肯 定的評価	%	R1	90	90	90	90	90	90	令和3年度前期市内保護者アンケートで、小学生保護者の9 2%、中学生保護者の91%が、学校の対応を肯定的に捉えて いる。市の施策とともに、学校現場の教職員の地道な対応が継 続的に行われている。	4.現状 維持	4.現状 維持	いじめ見逃しゼロスクールの開催や、生徒指導に関 する情報交換となるシェイクハンド訪問を実施するこ とで、生徒指導上の諸問題に対する未然防止と即時対 応に取り組めます。	いじめ見逃しゼロスクールの推進、シェイクハンド 訪問
(2)たくましく生 きていく「生きる 力」を育成します	② 豊かな人間性と社 会性の育成を図り ます	117	同和教育を中核にした人権教育を推 進します	学校教育課	学校教育係		市教委主催研修会教職員参加率	%	R1	87	95	95	95	95	95	現在4時から夢塾を中心に実施中である。	4.現状 維持	4.現状 維持	市教主催の研修会への参加や、各校年間2回実施す る人権教育、同和教育に係る研修会を通して、教職員 の人権感覚を高め同和教育を中核とした人権教育を 推進します。	市教主催研修会、各校2回の研修会実施
		118	青少年健全育成の推進と支援を図り ます	学校教育課	学校教育係	こども課	シェイクハンド訪問全小中学校訪 問率	%	R2	100	100	100	100	100	100	これまで各学期ごとにシェイクハンド訪問を行っている。全て の学校に青少年育成センター指導主事が訪問している。	4.現状 維持	4.現状 維持	青少年育成センターの相談活動や街頭指導活 動を実施することで、青少年の健全育成を図り ます。	青少年育成センターの運営
		119	キャリア教育を推進します	学校教育課	学校教育係	こども課	児生共通アンケート「将来の夢や 目標をもっていますか」肯定的評 価	%	R1	82	80	80	80	80	80	令和3年度前期市内児童生徒アンケートでは、肯定的な評価は 81パーセントであり、前年度同時期よりも下がっている。各校 の教育活動をさせる。	4.現状 維持	4.現状 維持	各校の特色を生かした学習活動を展開するた めにわくわく見附アクションプランを活用する ことで、キャリア教育を推進します。	わくわく見附アクションプランの活用

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を兼ねるもの

基本目標4：人が育ち人が交流するまちづくり ※基本施策(1)～(4)は「見附市教育大綱」の役割も兼ねる											年度別KPI(目標値)					中間評価			二次評価	※基本施策目標は基準と最終年度のみの設定		
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主 担 当 課	担当係	副 担 当 課 連 携 課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度 の 方向性	次年度 の 方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み		
	③	健康やかな体の育成 と体力向上を図ります	120	全校体制による体力向上の取り組みを推進します	学校教育課	学校教育係	こども課	小中学校12校中、体力テスト結果（男女24項目）が県平均より上回った項目数の割合	%	R1	45.8	50	50	50	50	50	今年度は例年よりも県平均を上回る学校が少なかった。ただし、スペシャリスト派遣事業等の効果が明確に表れているので、次年度も継続したい。	4.現状維持	4.現状維持	各校の特色を生かした1学校1取組やスペシャリスト派遣事業を実施することで、全校体制での児童生徒一人一人の体力向上を図ります。	1学校1取組、スペシャリスト派遣事業の実施	
			121	子どもの健康の保持増進を図ります	学校教育課	学校教育係	こども課	小中学校のう歯(虫歯)罹患率の県平均との差異	%以内	R1	3	3	3	3	3	3	フッ化物洗口や歯磨き指導、喫煙防止教室を引き続き推進する。	4.現状維持	4.現状維持	フッ化物洗口や歯磨き指導、喫煙防止教室等のSWS事業を推進することにより、児童生徒の健康の保持増進を図ります。	SWS事業推進	
			122	食育を推進し、食に関わる資質・能力の育成を図ります	教育総務課	学校給食係	学校教育課・健康福祉課	学校給食における地場産野菜の使用率(重量ベース)	件以下	R1	35.5	35	37	40	40	40	今年度からは地場産食材の使用率向上に向け、農村振興センターみつけからも食材の納入に関わってもらい連携を図っているが、生産者の安定的な供給が追いついていない状況。	4.現状維持	4.現状維持	8小学校区の「小学校米」と地元産野菜を使用した給食による郷土愛の育成と食育を進めます。	地消地産の推進、栄養教諭による食育授業、個別指導	
(3)地域の人材と資源を活用した教育の充実に努めます	①	地域連携の充実を図ります	123	みつけコミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業を推進します	学校教育課	学校教育係		学校運営協議会3回以上実施校	%	R1	100	100	100	100	100	100	現在年度途中であり、確認中であるが、各校がここまで年間計画に基づき、実施している。	4.現状維持	4.現状維持	各学校でのコミュニティスクール活動の充実に向けた研修会の実施や、情報交換のためのCSナビを発行することで、コミュニティスクール及び地域学校協働活動を推進します。	CS研修会の実施、CSナビの発行	
			124	学校評価の充実と教育情報の積極的な発信に努めます	学校教育課	学校教育係		新任校長アドバイスの会参加率	%	R2	100	100	100	100	100	100	100	管理職の研修として校長会をとおして参加を呼び掛け、夏季休業中の会に、全ての校長が参加した。	4.現状維持	4.現状維持	市内共通アンケートの実施や、校長OB・大学教授からの学校評価アドバイスの会を実施することにより、学校評価を充実し教育に関する情報を積極的に発信します。	市内共通アンケート、学校評価アドバイスの会実施
			125	学校・家庭・地域が連携した防災体制の充実を図ります	学校教育課	学校教育係		市防災訓練中学生参加率	%	R1	89	85	85	85	85	85	85	令和2年度と3年度は、新型コロナウイルス等の影響下で、市の防災訓練に中学生の参加が見送られた。	4.現状維持	4.現状維持	防災スクールを市内各校で実施することにより、災害への意識の啓発を図ります。	防災スクール実施、市防災訓練への中学生参加拡大
			126	保護者、地域、行政が連携した総がかりの教育を推進します	学校教育課	学校教育係		中学生共通アンケート「地域やコミュニティ行事に参加しますか」参加の回答	%	R1	89	85	85	85	85	85	85	市の共通アンケートから、中学生は84%が参加していると答えているが、新型コロナウイルスの影響もあり、わずかに低下している。引き続き地域に係る教育活動を展開する。	4.現状維持	4.現状維持	夏季休業期間に、保護者、地域、行政がそれぞれ特色を生かした講座を提供することで、市民総がかりで創る「わくわく体験塾」の充実を図ります。	わくわく体験塾の実施
	②	文化財の保護と活用に努めます	127	文化財保護とその活用による市民の郷土理解の促進を図ります	教育総務課	文化財係		伝承館での企画展示事業開催回数	回	R2	3	3	3	3	3	3	今年度も3回の企画展示を実施する。魅力的な内容と各方面への周知を行い、来場者数の向上も目指したい。	4.現状維持	4.現状維持	見附市の文化財や人物、産業などの歴史郷土に関する企画展示を行います。	文化財保護審議会の運営、伝承館の企画展事業	
			128	見附の宝・誇りとして国史跡耳取遺跡の整備活用を進めます	教育総務課	文化財係		耳取遺跡整備基本計画に基づく整備の進捗率	%	-	-	8	16	25	33	41	貝喰川放水路の試掘確認調査等の突発的な事業が発生し、耳取遺跡整備事業は整備基本計画に沿った進捗とはいかない状況だが、途切れることなく継続的に実施する。	4.現状維持	4.現状維持	国史跡耳取遺跡整備基本計画に基づき、耳取遺跡の整備と活用を進めます。	整備基本計画の策定(R2策定)と整備の推進	
			129	ふるさとの歴史・文化についての学習機会の充実を図ります	学校教育課	学校教育係	教育総務課	年間指導計画に「ふるさと」学習を位置付け、実施及び学習内容の見直しを行っている小中学校	%	R1	100	100	100	100	100	100	100	新型コロナウイルスの影響がある中で、総合的な学習の時間を核に地域の事を学ぶ学習をすべての学校で実施している。	4.現状維持	4.現状維持	「みつけ塾」の活用や地域素材を生かした総合的な学習の時間を展開することにより、ふるさとの歴史や文化についての学習の充実を図ります。	校外学習や「みつけ塾」の活用
	(4)快適な学びの空間、充実した教育環境を整備します	①	多様なニーズに対応した教育支援の充実を図ります	130	教育支援、相談支援体制の充実を図ります	学校教育課	学校教育係	こども課	講演会参加者肯定的評価	%	R1	100	95	95	95	95	95	講演会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施できていない。代わりに就学支援相談活動や、嘱託指導主事による学校や園訪問を丁寧に行い、各校の現状を把握して、支援につなげている。	4.現状維持	4.現状維持	嘱託指導主事による特別支援学級設置校への学校訪問や、特別支援教育に関する講演会を実施することで、各学校の教育支援及び相談体制の充実を図ります。	学校訪問、研修会の実施
				131	一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進します	学校教育課	学校教育係	こども課	就学支援に関する相談を行った児童生徒の割合	人	R1	2.74	2.74	2.74	2.74	2.74	増加	令和3年度の就学相談活動が途中であるが暫定値として、相談をした児童生徒の割合は2.02%である。引き続きわたぼうし相談活動等の周知していく。	4.現状維持	4.現状維持	主に就学前の保護者を対象とした学校視察の実施や、就学について悩みをもっている保護者を対象としたわたぼうし相談員の相談活動などを実施することで、きめ細やかな特別支援教育を推進します。	保護者等学校視察、わたぼうし相談の実施
		②	安全安心で快適な教育環境の整備を進めます	132	自然を活かした環境を守るとともに、ICT教育に対応した快適な学びの空間づくりを推進します	教育総務課	総務管理係		アースプロジェクト事業の実施	-	R2	継続	継続	継続	継続	継続	継続	今年度もグリーンカーテンやグラウンド芝生の整備、EM菌によるブル管理を継続。R1年度に普通教室にエアコンが設置されたことにより、次年度は縮小を検討する。	5.縮小	別紙1参照	小・中・特別支援学校で地球の環境を守るためのグリーンカーテンや校庭芝生の維持管理、EM菌によるブル清掃等に取り組めます。	アースプロジェクト事業、GIGAスクール
133	子どもの安全安心の確保に努めます			教育総務課	総務管理係	学校教育課	通学路安全推進連絡協議会の開催回数	回	R1	1	1	1	1	1	1	1	八街市の事故を受け、緊急通学路点検を実施し、例年以上に通学路の安全に関心が高い。年度末には会議を開催し関係機関と課題を共有する。	4.現状維持	4.現状維持	冬期のバス等による通学支援事業や道路関係者・学校等による通学路の安全対策を講ずる通学路安全推進連絡協議会を実施します。	通学支援事業、通学路安全推進連絡協議会	
			134	適切な学校施設の維持管理と老朽化対策を推進します	教育総務課	総務管理係		学校施設長寿命化計画に基づく施設の改修	-	-	-	調査	基本設計	基本設計 実施設計	名木野小学校	名木野小学校	R6～7の名木野小学校長寿命化事業に向けた耐力度調査を今年度実施する。	4.現状維持	4.現状維持	学校施設長寿命化計画に基づき、長寿命化改良や大規模改修を行い、施設の老朽化対策を進めます。	長寿命化計画(R2策定)に基づく老朽化対策	

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を兼ねるもの

基本目標4：人が育ち人が交流するまちづくり ※基本施策(1)～(4)は「見附市教育大綱」の役割も兼ねる											年度別KPI(目標値)					中間評価		二次評価	※基本施策目標は基準と最終年度のみの設定	
基本施策	主要施策	通番号	主要事業	主担当課	担当係	副担当課 連携課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度 の方向性	次年度 の方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み
(5)ライフステージに応じた学びの環境づくりに取り組みます	① 生涯学習を支援します	135	現代的な課題の解決に向けた学びや活動の場を提供します	まちづくり課	生涯学習係		市民アンケート「生涯学習環境の充実」	人	R2	64.9	-	増加	-	増加	増加	学習人材バンク登録者による自主講座の開設や学校派遣など、学びの場を提供している。引き続き、登録者の支援等を行っていく。	4.現状維持	4.現状維持	学習人材バンク事業および市民の多様なニーズの把握、事業参画等により公民館事業の充実を図ります。	学習人材バンク事業・公民館事業
		136	男女共同参画を推進します	まちづくり課	生涯学習係		市民アンケート「男女が共に活躍するまちづくり」満足度	-	R2	60.0	-	増加	-	増加	増加	今年度はKPIが設定されていないが、男女共同参画事業推進懇談会を開催し、施策の進捗状況を確認した。また、11月～2月に男女共同参画に関する4講座開催する等、取り組みを推進している。	4.現状維持	4.現状維持	男女共同参画事業推進懇談会による進捗状況管理、男女共同参画についての広報・啓発および学習機会を提供します。	男女共同参画事業推進懇談会の実施
	② 芸術・文化の充実に努めます	137	優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に努めます	まちづくり課	文化振興係		文化ホール来館者数	人	R1	51,363	50,000	50,500	51,000	51,500	52,000	新型コロナウイルス感染拡大以降、施設利用者が減少しているが、今後も優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供を行い、来館者の増加に努める。	4.現状維持	4.現状維持	自主事業公演の多様化と更なる質の向上をはかるとともに、市民の自発的な舞台芸術活動を支援します。	文化ホール事業全般
		138	芸術作品の制作・発表の機会の提供に努めます	まちづくり課	文化振興係		市展出品者数	人	R2	299	300	300	300	300	300	コロナ禍の影響も考えられるが、芸術作品の制作・発表の機会の提供に努め、目標値に近い実績となった。	4.現状維持	4.現状維持	市展のつどい等の講座を通じてすそ野を広げ、市展への作品発表、サークル化、ギャラリーでの展示をする人の増加を目指します。	市民ギャラリー事業全般・市展
	③ 市民一人1スポーツの実現に向けた取り組みを推進します	139	スポーツ関係団体や健幸スポーツの駅等と連携して魅力的な運動機会の提供に努めます	まちづくり課	スポーツ振興係		週1日以上スポーツや運動を行っている成人の割合	%	H30	43.1	-	50.4	-	54.1	-	市内の運動・スポーツ情報の提供やプログラムの実施によりスポーツに関わる市民を増やす活動を継続する。	4.現状維持	4.現状維持	市内の運動・スポーツ情報の提供、プログラムの実施によりスポーツに関わる市民を増やします。	健幸スポーツの駅
		140	幼児期の運動促進、ジュニア期の競技力向上、指導者の確保・育成に努めます	まちづくり課	スポーツ振興係		スポーツ少年団加入率	%	R1	11.97	12	13	13	14	15	14.87%と目標を達成したが、今後も子どもたちがスポーツに触れるきっかけづくりやスポーツを行う場づくりを支援し、子どもたちのスポーツへの関りを持てるよう継続していく。	4.現状維持	4.現状維持	子どもたちがスポーツに触れるきっかけ作りや、スポーツを行う場づくりを支援することで、子どもたちのスポーツへの関りを拡大します。	わくチャレ(わくわくチャれんじ運動あそび)・地域ジュニアスポーツクラブ育成・各種講座の開催
		141	スポーツ関係団体を支援し、誰もがスポーツを行いやすい環境づくりを促進します	まちづくり課	スポーツ振興係		運動スポーツプログラムへのプログラム掲載数	件	R1	98	110	110	110	110	110	市内111のスポーツ教室や団体等の活動を集約・周知することで教室参加者や団体等への加入者を募集し活動を支援することができた。	4.現状維持	4.現状維持	スポーツ団体等への支援を行うことで各団体の活動の活発化を図ります。	スポーツ団体への支援
		142	安全に運動できる施設の充実、維持管理に努めます	まちづくり課	スポーツ振興係		スポーツ施設の利用者数	-	R1	174,068	175,000	175,000	175,000	175,000	176,000	新型コロナウイルス感染拡大以降、施設利用者が減少している。利用者は戻りつつあるものの目標達成は厳しい状況。	4.現状維持	4.現状維持	利用者の安全を確保するため、施設の適正な維持管理(改修・修繕)を行い、利用者増加を図ります。	施設維持管理
(6)市民と行政の協働を推進します	① 地域自治を推進します	143	地域と行政の協働を推進し、地域コミュニティによる地域自治活動を支援します	まちづくり課	地域自治係		地域コミュニティと行政との連携事業数	件	R2	33	35	35	35	35	35	目標は達成したが、毎年なくなる事業もあるため、行政と各地域コミュニティが連携を図れるようにコミュニティ組織を支援します。	4.現状維持	4.現状維持	地域コミュニティと行政が知恵や力を出し合い協働して取り組みを図ります。	コミュニティ組織の支援
	② まちづくりへの市民参画を推進し、協働の仕組みをつくります	144	主要施策や事業の実施について市民参画を図ります	企画調整課	秘書・広報係		市民アンケート「市民と行政によるまちづくりの推進」満足度	%	R2	66.3	-	増加	-	増加	増加	令和2年度の市民アンケートでは、見附が「住み良い」「どちらかと言えば住み良い」と答えた割合が9割を超えた。パブリックコメントにおいては、見附市公共施設個別施設計画(案)をはじめとする8つのパブリックコメントを実施した。	4.現状維持	4.現状維持	各種審議会や会議等へ市民委員を登用するとともに、主要な施策・計画策定に当たってはパブリックコメントを実施し、施策への市民意参画を図ります。	パブリックコメント・審議会等への市民委員の登用
		145	まちづくりに関わるNPOやボランティア団体を支援します	まちづくり課	市民活動係		市民活動支援補助金申請団体数	団体	R1	7	6	6	7	7	8	ステップアップ事業(ソフト・ハード)で5団体からの申請があった。現在、追加募集を行っており、目標値は達成する見込み。	4.現状維持	4.現状維持	市民の自発的な活動を支援するため補助金を交付し、団体の支援を図ります。	市民活動支援補助金事業
		146	まちづくりに積極的に関わる人材の育成を図ります	まちづくり課	市民活動係		市民活動応援塾参加者数	人	R1	19	20	22	24	25	25	現在講座を準備中。今後講師と打ち合わせを行い、1～3月を目途に講座を実施する予定。	4.現状維持	4.現状維持	現在活動している市民活動団体や新たに市民活動に関わりたい方を対象に市民活動の活性化を図る講座を開催します。	市民活動応援塾
	③ 市民と行政との情報の共有化を図ります	147	行政情報や各種情報を、さまざまな媒体を活用し、わかりやすく市民に発信します	企画調整課	秘書・広報係		市民アンケート「広報・広聴活動」満足度	%	R2	74.2		増加		増加	増加	広報みつけを毎月発行し、コロナクテン関連情報や市の施策に関する情報を発信している。市ホームページでは、担当が定期的にサイト内を巡回し、分かりやすい情報発信が行われているかチェックしている。ホームページに上がった情報は、適宜SNSでも発信している。	4.現状維持	4.現状維持	月1回発行の広報みつけや市ホームページ、SNSなど、様々な媒体を活用して市の情報をわかりやすく市民に届けます。	広報見附、市HP・SNS等での情報発信
		148	アンケートや市長への手紙など、さまざまな世代の市民の声の把握に努めます	企画調整課	秘書・広報係		まちづくり懇談会等実施回数	回	R1	2	2	2	2	2	2	4つの地域コミュニティから開催希望がありKPI達成見込みだったが、市長退任の影響で実際に開催できたのは1か所のみとなった。	4.現状維持	4.現状維持	地域コミュニティ等と連携したまちづくり懇談会の実施や、2年に1回の市民アンケートなどを通して、市民の声の把握に努めます。	市民アンケート・まちづくり懇談会・市長への手紙

令和3年度行政評価結果一覧表

[illegible]

令和3年度行政評価結果一覧表

基本施策指標が主要事業指標を兼ねるもの												年度別KPI(目標値)					中間評価		二次評価	※基本施策目標は基準と最終年度のみの設定	
基本施策	主要施策		通番号	主要事業	主担当課	担当係	副担当課 連携課	KPI指標	単位	基準 年度	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	今年度のKPIの達成見込み・課題	次年度の 方向性	次年度 の 方向性	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み
(1)行政運営の 見直しを推進し ます	⑤	市民サービスの向上に努めます	156	ICTを活用した市民サービスの向上を推進します	企画調整課	農業振興係 農政企画係	総務課・関係各課	市民アンケート「ICT(情報通信技術)の整備状況や体制」満足度	%	R2	52.0	-	増加	-	増加	増加	インターネット回線や無線LANを設置する世帯に工事費や通信費等を補助する見附市通信環境整備補助金を今年度も実施し多くの申請がある。令和4年度のアンケート実施時にはKPIを達成できるよう、インターネット環境整備に係る支援を実施していきたい。	4.現状維持	4.現状維持	社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応するため、ICT推進計画を策定し、行政サービスのデジタル化の検討や実装を推進します。	見附市ICT推進計画策定及び推進
	⑦	ICTを活用し事務の効率化を図ります	157	RPA、AI－OCRを活用し事務の効率化を図ります。	総務課	情報管理係	企画調整課	RPAで作成したシナリオ数、AI－OCRを活用した様式数（R1年度導入からの累計）	累計 件数	R1	18	50	70	80	90	100	ワクチン接種等各種通知メール配信、健診申込事務などで利用が進んでいる。目標達成の見込み。	4.現状維持	4.現状維持	AI技術を活用した手書き文字OCRとRPA(ロボティクスプロセスオートメーション)ツールを導入して、行政の定型的な業務を自動化し、業務改善と生産性の向上を目指します。	AI-OCRとRPAシステムの活用促進
			158	テレワーク体制の整備・推進を検討します。	総務課	情報管理係	企画調整課	ビジネスチャットツール「LoGoチャット」の職員利用率	%	R2	20	70	75	80	85	90	毎月、順調にメッセージ数と利用率は延びている。現在の伸び率を維持できれば年度末では65～70%の利用率を達成できる。	4.現状維持	4.現状維持	テレワークにも活用できるビジネスチャットツール「LoGoチャット」の全庁展開、業務活用を押し進めます。	ビジネスチャットツール「LoGoチャット」の導入及び普及
(2)収入の確保に努めます	④	新たな収入の確保を図ります	159	企業版ふるさと納税やふるさと納税など新たな収入の確保を図ります	企画調整課	総合戦略室 / 財政		企業版ふるさと納税やクラウドファンディングの活用事業数	累計事業 数	R2	2	2	3	4	5	6	4月から5月末にかけて防犯カメラ設置事業において、クラウドファンディングを活用し寄附を募集し156万の寄附を受領。SIB事業の企業版ふるさと納税は11月上旬時点で1社より寄附いただき、更なる企業との連携強化にむけ10月下旬に市内外企業等にDMを送付。今後も新規事業の各制度の活用に向け庁内での協議を引き続き実施し、KPI達成につなげていく。	4.現状維持	4.現状維持	民間企業との連携強化及び、官民協働を強力に進めることにより、新たな収入確保と地方創生の取組の深化を図ります。	対象事業の選定及び庁内調整 地域再生計画の認定申請
	④	新たな収入の確保を図ります																			